令和４年度夏季研修会について　報告

令和４年８月２日（火）　　本校体育館

今年は、朝日大学から虫賀文人先生をお招きし、「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業作り・環境作り」というテーマで講演をしていただきました。虫賀先生には、ユニバーサルデザインについての専門的な話だけでなく、授業を通して子どもたちが変化していく様子を、事例を交えながら具体的に紹介していただきました。

教育における「３つの UD（ユニバーサルデザイン）化」の講義では、複数の教材やプリントなどを用意し、児童生徒の選択の幅を広げ自ら挑戦することで、「みんな同じじゃなくていい」「違ってもいい」という学級風土を自然に作り出すといった『授業の UD 化』、不要な刺激は取り除き、教室内の整備を工夫するといった『教室環境の UD 化』、児童生徒の「良いところ、頑張り」に目を向け相対的に問題となる部分を少なくすることで、その子の価値を高め居場所を作るといった『人的環境の UD 化』について丁寧に教えていただきました。これらの実践を行う上で、日々の児童生徒との関りを大切にし、子どもの言葉に耳を傾け気持ちに寄り添うといった、教師の基本的な心構えと姿勢が大切であるということを改めて学ぶことができました。

参加者アンケートからは

- **「ないと困る」+「あると便利」という概念を基に、ぜひ実践していきたいと思う。**
- **具体的な話で分かりやすかった。３つの UD 化にすぐに取り掛かりたいと思った。**
- **日頃の児童生徒への対応を振り返り、ほめ方や叱り方について振り返る良い機会になった。**

などの声が寄せられました。

また、会場内では、「教材教具の紹介」も行い、実際に本校で活用している教材を手に取って見ていただきました。

- **自分の学級の児童に使えそうな教材があったので、 参考にして実践していきたい。**
- **この夏休み中に購入してみたいと思う書籍も見つかり、大変参考になった。**

などの声をいただきました。

暑い中、地域の小・中学校、高等学校の先生方や福祉関係の皆様にもたくさん参加していただきました。ありがとうございました。